

# 令和5年度 法人本部事業計画

社会福祉法人 青葉福祉会

## 一 基本理念

福祉の原点を「自分が幸せでありたいと思うこと。そして、大切な人に幸せであってほしいと願うこと。」と考え、生涯のどの時点においても自立に向かうための環境を提供する「生涯福祉」を理念とし、「乳幼児から終末まで」つながりを持った事業を展開し、幅広い分野の福祉活動を実施することによって地域福祉の向上に貢献する。

そのために、児童福祉事業では「子どもたちの尊厳と習慣を育む」、生活困窮者等の事業では「生活困窮者等の尊厳と習慣の再構築を支援する」、高齢者福祉事業では「お年寄りの尊厳と習慣をお守りする」を実践理念として、各事業を実施する。

## 二 目標

社会福祉法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保を図る。

当会が社会福祉法人の責務を果たし続けていくことは、地域福祉への貢献と同義と捉え、100年続く法人であることを目標とする。

## 三 戦略

1. 強固な経営基盤づくり
2. 人材育成と組織づくり

## 四 戦術（本年度の取り組み）

1. 収益力のUP、全事業黒字化
  - ・施設毎の数値目標を達成する
  - ・全事業の営業力強化を図る
  - ・在宅事業全般における収益力アップを行う
  - ・法人パンフレットの刷新を行う（各事業のチラシも並行して見直す）
  - ・新サービス（通い・訪問）事業の開始検討を行う
2. 新人事考課制度の運用と見直し
  - ・役割等級制度へと移行した新人事考課制度を運用し、必要に応じて見直しを図る
  - ・考課者育成のために考課者研修を年度内に複数回実施する
3. 本部機能見直し
  - ・法人本部とはどうあるべきかを検討し、両輪を実践するための機能を構築するべく必要な採用及び法人内人事異動等を検討する

- ・本部職員の育成計画を立案する（担当分野の知識・技術の向上を目指す）
- ・本部監査を継続実施する
- ・経営企画室の再編成を行う（経営企画室研修を実施する）
- ・法人外活動への参加、見学などを積極的に行い、本部職員として視野を広げる
- ・本部会議の継続実施する
- ・幼成老それぞれの障がい分野の学習及び情報収集を行う
- ・文書管理及びペーパーレス化を推進するための現状整理とルール策定を行う

#### 4. 法人理念の浸透

- ・誕生月研修等を通じて、職員が法人に愛着を持って自発的に行動するような組織づくりを目指す
- ・不適切な関わり、事故虐待防止、苦情解決の取組みについて強化する
- ・法人理念の実践に関する表彰等を行う（第3回事例発表会の開催など）
- ・法人の思いや願いをホームページ、YouTube、Instagramなどを活用して発信することを継続する
- ・5、6等級職員との面談を実施する（考課＋不定期）

#### 5. 公益的取組の推進

- ・既存の地域支援事業として月一回地域支援会議と地域の情報収集を行う
- ・施設ごとの公益的取組実践状況を確認し、推進する
- ・介護元気 DA そう会の再開

#### 6. 法人災害対策 BCP の策定

- ・法人全体の災害対策 BCP を策定するために月一回の策定委員会を開催する

以上